作品タイトル：

**ガボールスラッシュ錯視**

田中友喜　(京都大学 大学院情報学研究科)

**解説**

　この錯視は、回転しているガボールパッチのコントラストを連続的に変化させたとき、コントラストが次第に低くなり消失する直前に、ガボールパッチにスラッシュ状の切れ目が入り、斜めにずれたように見える現象である。ぜひ、動画を一時停止して、スライダーつまみを使って自分でガボールパッチを回転させてみてほしい。ガボールパッチのコントラストが低くなり徐々に薄くなっていくとき、縞の方向に対して45〜90°の方向に切れ目が入り、ずれていく様子が知覚されるだろう。ずれを知覚したところで静止させると、すぐにそのずれは消えてしまい、元の（低コントラストの）ガボールパッチに戻ってしまう。

　ガボールパッチは視覚研究で広く用いられており、この錯視の新規性に関しては類似（あるいは同一）のものがすでに知られているかもしれないが、調べた限りでは見つからなかった。この錯視の発生原理については、視覚系の運動の知覚特性とコントラスト感度特性によって説明できるのではないかと考えられるが、詳細は検討中である。